

入間川中だより

狭山市立入間川中学校
令和2年3月26日号
「地域に根づく学校をめざして」
発行者 関根保子

とても素敵な卒業式でした

前日までは暖かな春らしい陽気でしたが、卒業式当日は寒の戻りで雨から雪に変わるとても寒い一日でした。しかし、卒業式当日の3年生の熱い想いが体育館に立ち込め、とても素敵な卒業式になりました。在校生や保護者の方々が不在で拍手などが少し寂しく感じましたが、いつもの卒業式と変わる

ことなく、厳かに、しかし、川中らしい温かく感動的なひと時となりました。私は、在校生には立派に巣立っていく3年生の姿を見せたかったという思いが強く残りました。(式辞裏面)



引き続き、気をつけていきましょう。

～新型コロナウイルスに感染しないために～

感染の拡大はまだ収まらない状況です。「自分がかからない」という油断は禁物です。まずは罹患しないために緊張感をもって春休み中も以下のことに気をつけて生活していきましょう。

- ① 多くの人が集まる場所には行かない。
- ② 換気を心掛け、締め切った空間に長時間滞在しない。
- ③ 近い距離での会話や交流を避ける。
- ④ 手洗い、マスク着用の励行
- ⑤ 規則正しい生活、睡眠、栄養、運動で免疫力と防衛体力をつけ、ウイルスをはね返す。

*今後の様々な情報は、国、県、市で検討され、学校でも細かく打ち合わせした後、「さやまっ子緊急メール」で連絡します。保護者の皆様、メールの確認をお願いします。また、メールが届きにくい場合は学校にお問合せください。

1, 2年生の健康観察は続きます
今後は電話ではなく、毎週(月)緊急メールの発信⇒必ず返信
返信なし⇒(火)後続メール発信
さらに返信なし⇒(水)電話
市教委へ報告をしますので、
ご協力をお願いします。

**《4月の主な予定》3/26 現在
予定ですが急遽変更もあります**

- 7(火)準備登校(8:25)
- 8(水)始業式・入学式
- 9(木)短縮3 教科書配布
- 10(金)短縮4 給食開始
- 13(月)身体測定、清掃開始
オリエンテーション
部活見学開始(~16)
- 14(火)春休み明けテスト
避難訓練
- 15(水)写真撮影、川中タイム、
二者面談(~24)委員会

1, 2年生にとっても、学級で過ごす最後の一日、

1年間の仲間や先生方の支えに感謝しよう!!

3/26(木)は本来ならば修了式です。しかし、今年は式はなしで、教室で修了証(通知表)が手交されます。1年間共に過ごした仲間たち、学年や担任の先生と最後の時間を過ごし、自分の心にしっかりとけじめをつけて、次のステップに進んでいきましょう。よい終わり方は次の「良いスタートと良い出会い」につながります。

1年間の自分の成長を振り返り、新学期への目標を立てましょう。

令和元年度狭山市立入間川中学校第39回卒業証書授与式 式辞

(前文略)・・・本来ならば、皆さんの保護者、家族、多数のご来賓の方々、そして学校生活を共に過ごした在校生もこの式に参列し、卒業証書を手にする、三年生の一人一人の姿をしっかりと目に焼き付けていただきたかったという思いでいっぱいです。今年に限ってはこのような卒業式にせざるを得ない状況となりました。しかし残念がっているだけでは、卒業生の晴れやかな日には相応しくありません。一、二年生がいない中、会場設営や飾りづくり、掃除など、先生方も精一杯の準備をしました。どのような状況の中でも皆さんの卒業式は、今ここにいる仲間であれば作れない素敵なものにしていきましょう。(中略)

一年生の頃、学校に慣れることで精いっぱいだったと思いますが、よい先輩方にも恵まれ、その時の三年生がリードしてくれた、素晴らしい合唱を皆さんが受け継ぎ、入間川中に残してくれました。私が出会ったのは2年生になってからですが、授業に真剣に取り組む姿、部活も行事も本気で取り組む姿が特に印象的でした。それは三年生になり、益々真剣さが増し、個々の学力もしっかり向上させることができました。各部の活動も三年生のリードで活発に活動し、それは優勝、準優勝など、優れた良い結果を生むことにつながったとも言えます。よく頑張り一人一人が心身共に大きく成長した姿は立派であり、下級生からも尊敬され、良い雰囲気の入間川中を築き上げてくれました。心よりお祝いとお礼のこぼを贈ります。改めて、三年生、卒業おめでとう、そして、どうもありがとう。

卒業後はそれぞれが違う道に進んでいきます。新たな人との出会いを大切に、自分の生きる道を探し、長い人生を歩んでいく中で、心にとめてほしい三つのことを話します。

一つは「これからの自分の人生に夢や希望を持ち、困難に直面してもたくましく乗り越えていける力をつけてほしい」と願います。今日は卒業を祝う日でありながら、私たち教師の立場から言えば、義務教育を終えた皆さんをこれからの困難の多い社会に「行ってらっしゃい」と背中を押して送り出す日でもあります。長い人生の中ではいいことばかりではなく、思い悩み、苦しいことや深い悲しみに陥ることがあることを想定しておきましょう。そして、何かが起こっても一人で考え込まず、誰かに相談して解決の糸口を見つけましょう。あなた方のそばには寄り添い、アドバイスをしてくれる仲間や家族が必ずいるはずで、三年後には選挙権、五年後には二十歳となるみんなには、自分の頭で考え、冷静な判断ができ、自ら行動できる青年に成長してくれることを期待します。

二つ目は、人としての大事なものを見失わず、人の心の痛みがわかり、思いやりの心をもって生きて行くこと、これは私が入間川中に来てからずっと言い続けてきたことです。

皆さんが社会で活躍するところは今とは大きく変わった社会になっていると想像します。しかし、私たちにはロボットやAIには負けることのない「人としての大事なもの」と「人間らしさ」があります。目では見えない人の心の中を察し、その人の心の痛みや苦しみを理解し、優しい言葉をかけたり、そっと黙って寄り添うことができるはずで、その場の状況を見て、「今の自分に何ができるか、何をすべきか、」と考えられる人になってほしいと願います。

最後に、今まで自分を支えてくれたすべてのものに感謝の心を持ち、一つしかない命を大切に生きてください。

今この年齢になった私がここにあるのは、私を生み、育ててくれた父と母がいたからだ、今は亡き父と母に改めて心より感謝しています。今日は皆さんのお父さん、お母さん、または自分を育ててくれた方々がここにはいません。卒業式の姿が見せられない分、自分らしく感謝の思いを伝えてください。

ここでいつもなら在校生に向けてしっかりとバトンを受け継いでほしいと話すのですが在校生がいない分、三年生の立派な姿を私たち教員がしっかり見届け、皆さんが残してくれた入間川中学校の校風を引き継いでほしいという願いを必ず在校生に伝えます。結びとして、本校の教育のために日ごろからご支援、ご協力いただいている地域の方々、PTA、保護者の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、式の参列が叶わなかったことを心よりお詫び申し上げ、式辞とさせていただきます。

令和2年3月14日 狭山市立入間川中学校長 関根保子